

岡本眸の春の句

冴返る花壇の端に靴のあと
夜は月の暈の大きく水温む
師はときに遊べ遊べと梅日和
淡雪や訪はむには誰もやや遠く
鳥影へ目を張れば目に雪解風

松岡隆子 抽